

うさぎとかめ通信

上越市立高田幼稚園

(週刊：園長室だより) 106周年

令和4年11月17日 第163号

HPのQRコード→

「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本！



子どもの姿から

【高田図書館に掲示されたポスター】→

9日(水)に、紅葉を愛でる散歩に行きました。秋晴れのもと、紅葉が見事な高田城址公園に出掛けました。途中、公園内の高田図書館を訪問しました。すると、館内に高田幼稚園の「おはなしランチ」を紹介するポスターが掲示されていました。子どもたちも喜んでいましたし、職員としても張り合いが感じられました。ありがとうございました。



10日(木)に、誕生会を開催しました。おめでとうございます。そして、盛り上げてくださった保護者の皆様と園児の皆さんに感謝します。今回のお楽しみ企画は、高田幼稚園が誇る演劇集団による、劇『おむすびころりん』でした。アドリブと教訓性が豊かで、芸術性の高い劇(?)を見ていただきました。子どもたちが大爆笑、大興奮していました。さあ、来月は子どもたちが主役の「発表会」です。遊びの中から、発表することを見つれたり創ったりしてください。

園庭・園舎から

【メビウスリングを前へ前へ】→

8日(火)に、高田幼稚園給食運営協議会を開催しました。給食の運営をよりよいものとするため、関係の皆様と意見交換しました。市教育委員会教育総務課様、調理業務受託業者様、保護者代表のPTA会長様、高田幼稚園が集まり、それぞれの立場から現況と今後に向けての改善点等を話し合いました。子どもたちの給食を楽しむ姿が鮮明になりました。



9日(水)に、うさちゃんくらぶを開きました。今年度最後の開催でした。「おうちの人と作ろう！」をテーマに、クリスマスのグッズを手作りしました。華やかなリースやクリスマスの帽子、動くサンタを楽しく作りました。

キーワード

【高田幼稚園のウーパールーパー】→

○ウーパールーパー

10月から高田幼稚園に仲間入りしたウーパールーパーは、サンショウウオの仲間の両生類です。原種のメキシコサンショウウオ(サラマンダー)は、メキシコの湖に住み、「幼生成熟」という特徴があります。本来、両生類は幼生の時はえら呼吸で、成長すると変態して肺呼吸になります。しかし、メキシコサンショウウオは幼生のまま変態しないで成熟します。また、驚異的な再生能力などを100年ほど前から研究している間に、突然変異で白い個体が現れ、品種改良して白いメキシコサンショウウオとなりました。飼育下では、約25cmの大きさに成長します。



日本では昭和60年(1985年)頃、カップ焼きそばのテレビCMで人気者となり、「ウーパールーパー」のキャラクター名も日本で付けられました。

(参考：神畑養魚株式会社、アクアハーミットのサイト)